

表彰状を手にする小林さん＝坂井市の丸岡高



小林さん(丸岡高3)大賞

NHK学園「武蔵野市俳句大会」

俳句審査、文科大臣賞候補

NHK学園生涯学習フェ

スティバル「武蔵野市俳句

大会」の題詠の部で、坂井

市の丸岡高3年の小林陸人

さんの作品が最高賞の大賞

に輝いた。

大会には全国から、自由

と題詠の部合わせ4297

句が寄せられ、大賞3句を

選出した。小林さんの句は、

今後開かれるNHK全国俳

句大会など6大会の大賞作

から選ぶ文部科学大臣賞の

候補作品となった。

俳句に特定の文字を入れ

る題詠は「光」。小林さん

は、6歳のはとが祖母か

らお年玉をもらって喜んで

いる光景を思い浮かべ「六

歳の明子・光子へお年玉」

と詠んだ。選評では「動詞

は使われていないが、句の

言葉に生動感がある。子ど

もの顔が思い浮かぶよう

な、生き生きした作」と評

価された。

小林さんは中学の国語の

授業をきっかけに俳句の魅

力にはまった。毎日10句近

くを詠み、これまでの作品

数は1万以上に上る。高校

に入ると全国コンクールに

投稿したり、地元の丸岡和

幸俳句会に参加したりして

研さんを積んできた。

今春、大学に進学し歴史

俳句や写真俳句に力を入れ

るといふ小林さん。「素直

に詠んだ句が大賞に選ば

れ、驚きと喜びを感じる。

自信が付いたし、卒業のい

い記念になった」と話した。

(東村淳悟)